

北九州市教育委員会総務部企画調整課

## 北九州市立夜間中学校設置基本計画（素案）概要について

### 1 夜間中学校設置検討の背景

#### ○国の動向

- ・教育機会確保法
- ・令和3年1月衆議院予算委員会 菅総理大臣答弁  
「5年間で全ての都道府県・指定都市に設置を目指す」

#### ○他都市の動向

- ・15都道府県34市区に40校が設置
- ・指定都市では20市中10市に15校が設置  
令和5年度以降も設置に向けた検討が続いている（仙台市・千葉市ほか）

### 2 本市における夜間中学校設置の必要性

#### ○自主夜間学級の活動

- ・穴生・中学校「夜間学級」（平成6年～青春学校として開設）
- ・城南中学校「夜間学級」（平成10年～よみかき教室・城野として開設）
- ・北九州市「夜間学級運営支援事業」（平成17年～継続中）

#### ○令和3年度アンケート調査結果

- ・公立夜間中学での勉強に関心がある方を対象とし、598件の回答  
うち「自分が学びたい 165件」
- ・比較的若い世代（40歳未満・中学既卒）の「学び直しニーズ」が高い

#### ○令和2年度国勢調査結果

- ・未就学者： 1,131人（うち70代以下 637人）
- ・最終卒業学校が小学校の者： 4,547人（うち70代以下 482人）
- ・隣接する17市町と下関市にも本市と同規模の未就学者等が在住

### 3 夜間中学校に関するあり方検討の経緯

#### ○北九州市公立夜間中学校を考える会議（令和4年5月～8月）

- ・第一回 「あるべき姿」について意見交換
- ・第二回 「あるべき姿」の意見整理、校舎位置・施設のあり方
- ・第三回 基本計画（素案）について意見交換

### 4 夜間中学校設置の基本計画（素案）

- |           |   |
|-----------|---|
| (1) 設置主体  | 北九州市  |
| (2) 校舎位置  | 市立〇〇■学校内に設置 ⇒開校時期に影響  |
| (3) 入学対象者 | 北九州市在住（国籍は問わない）<br>学齢期を過ぎた人で夜間中学の学びを希望する人<br>(以下は引き続き検討する)<br>① 北九州市と連携する自治体に在住している人<br>② 不登校等により、夜間中学での学びを希望する学齢期生徒<br>※②の実現には、不登校特例校への指定が必要 |
| (4) 規模    | 開校時は30人程度（各学年10人程度）を想定  |
| (5) 授業方法  | 対面を基本とするが、ICT端末でのオンライン授業も実施<br>平日5日間、1日4コマの授業を実施  |
| (6) 費用負担  | 授業料は無料とし、教科書も無償で配布する<br>学用品や学校行事などにかかる実費は自己負担   |
| (7) 進級    | 面談の上、本人の意向を踏まえ校長が判断   |
| (8) 修業年限  | 原則は3年 1年ごとの延長可 上限年数は今後の検討課題   |
| (9) 日本語指導 | 日本語での教科学習のため、日本語指導を行う   |
| (10) 就学支援 | 就学援助に類する制度新設に向け検討を進める   |
| (11) 通学方法 | 公共交通機関を利用した通学を基本とする   |
| (12) 学校給食 | 多様な生徒が対象となるため開校時点では実施しない<br>生徒の要望等を聞き、引き続き検討する  |
| (13) 学校行事 | 昼間部と同様に、できるだけ工夫して実施する   |

### 5 夜間中学校開校に向けた今後の取組（予定）

- ・基本計画（素案）に対するパブリックコメントの実施
- ・令和4年度内に基本計画を確定し、令和5年度中の整備計画を策定
- ・整備予定校区への説明会
- ・関係機関（福岡県・連携自治体ほか）との協議
- ・設置条例改正
- ・人員配置・教育課程等の検討
- ・広報活動（シンポジウム等）
- ・授業体験会
- ・生徒募集

